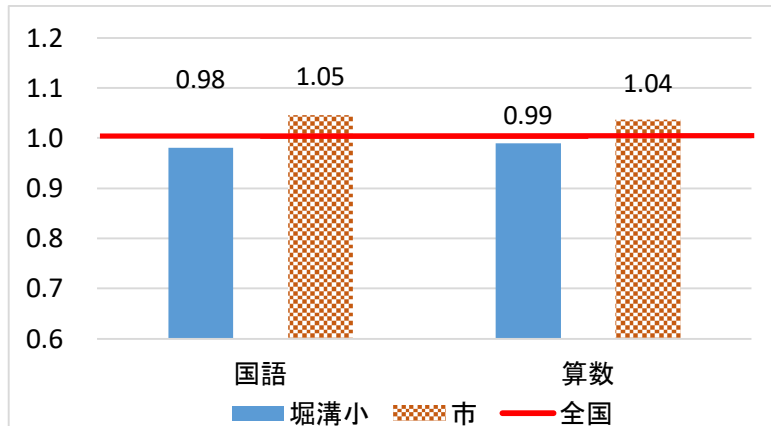


## 令和3年度 全国学力・学習状況調査について

第七中学校区 堀溝小学校

第6学年

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



○調査結果についての分析、今後の改善方策

### 【国語】

「知識及び技能」の「(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項」領域の「文の中における主語と述語の関係を捉える」と、「思考力、判断力、表現力等」の「A話すこと・聞くこと」領域の「目的や意図に応じ、資料を使って話す」などが全国平均を上回る結果となった。「C読むこと」領域に課題があるので、文の内容や目的を意識して要約する学習活動に力を入れていく。

### 【算数】

「数と計算」領域の「商が1より小さくなる等分除の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し計算できる」問題が全国平均を上回る結果であった。引き続き、立式に至る経過をしっかりと認識した上での計算に取り組ませる学習活動を大切にしていく。

### 【質問紙調査】

「学校ではICT機器を様々な学習にどの程度使用していますか」という質問に対して「ほぼ毎日・週1回以上」と答えた児童の割合は全国平均を27ポイント上回っており、学校全体でのICT教育推進の結果だと考える。「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」という質問に対して肯定的な回答をした児童も全国平均を上回っており、体験活動を含む地域に根差した学習が、将来のよりよい社会づくりを意識する教育につながっていると考える。

○学力向上の取組

### 【中学校区】

「自らの力と意思で進路選択のできる子」の育成に、小中学校が力を合わせ9カ年で取り組んでいる。保護者向けリーフレット「家庭学習のすすめ」を配付し、家庭学習の重要性について啓発しながら連携して取り組んでいる。今年度は、加配を活用した英語科での小中連携教科指導も行っており、取組を通して、小学5・6年と中学1年とのスムーズな接続につなげていく。

### 【学校】

- ・「朝の学習」の校内全体でのカリキュラムマネジメント・ICT教育（学習支援ソフトの活用）の推進
- ・読書活動の推進（図書時間の過ごし方と朝読書の徹底の取組）
- ・日本漢字能力検定の団体受検、堀溝小学校漢字検定、計算検定（3学期）の実施